

インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025の開催について

1 要旨

(公社)広島県パラスポーツ協会(以下「協会」という。)は、障害の有無にかかわらず誰もが参画し楽しめる「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025」(以下「フェスタ」という。)を開催する。

2 現状・背景

県パラスポーツ推進事業は、「普及啓発・認知向上」、「場の充実・機会の確保」、「競技力向上」の3つの施策の柱に沿って取り組んでいる。フェスタは主には「普及啓発・認知向上」のために令和5年度から協会を中心に組み立てられ、フェスタ開催によるパラスポーツへの機運醸成の高まりと、県民に広く浸透するよう取組を進めていく。

3 開催概要

(1) 日程

令和7年9月27日(土)～28日(日)2日間

(2) 開催場所

ア メイン会場

廿日市市(フジタスクエアまるくる大野(廿日市市多世代活動交流センター)ほか)

イ サブ会場

大竹市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町

(3) 主催

公益社団法人広島県パラスポーツ協会

インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025実行委員会

(主な構成)

顧問 / 広島県知事、開催市町長

委員長 / 廿日市市スポーツ協会会長

実行委員 / 県地域魅力づくり担当部長・開催市町担当部局長、
開催市町スポーツ協会会長

各部会 / 県スポーツ推進課長・開催市町担当課長、競技団体、企業関係者、
大学、理学療法士会、医療関係者等

中国新聞社

(4) 参加者数（予定）

体験会参加者数／約 800 名
競技団体・スタッフ等／約 300 名
ボランティア／延べ 100 名
観客／延べ 3,000 名

計 約 4,200 名

(5) 主な内容

パラスポーツの体験会（9競技）をはじめ、誰もが楽しめる新競技として注目を集めているドローンサッカーのエキシビションと体験会や、企業のアトラクションブースなどを設置し、参加者が楽しく過ごすことができるフェスタを展開する。

【実施競技等（予定）】

- メイン会場（廿日市市）での実施競技等（予定）は次のとおり。
 - ・ 開会式（ドローンサッカーエキシビションマッチ・競技体験会）
 - ・ ボッチャ、デフサッカー、パラクライミング、座位バレーボール、ハンザヨット、アーチェリー、車いすバスケットボール、ギソクの図書館、ヤングアスリートプログラム
- サブ会場（大竹市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町）での実施競技等は調整中。

4 予算（単県）

10,000千円

※ 企業等からの協賛により、総額約18,000千円の事業を予定している。

5 今後のスケジュール

令和7年6月 知事表敬訪問（協会会長フェスタ開催報告）

9月 フェスタ開催

6 その他（これまでの開催状況）

回次	年度	メイン会場	サブ会場
1	令和5年度	東広島市	呉市、竹原市、三原市、三次市、大崎上島町、世羅町
2	令和6年度	福山市	尾道市、府中市、庄原市、神石高原町

【参考】昨年度のフェスタ（開会式・体験会等）の様子

(1) 1日目 開会式等

【開会式】



【ボッチャエキシビジョン】



(2) 2日目 体験会・トークショー等

【ウォーキングフットボール】



【車椅子ソフトボール】



【ギソクの図書館】



【ハンザヨット】



【車いすバスケットボール】



【トークショー】

